

DC6100 簡易取扱説明書 [DC6100 接続編]

NEC Avio 赤外線テクノロジー株式会社

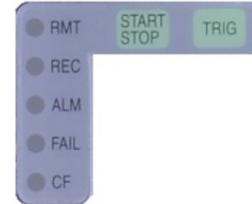
注意事項

- ・本製品をご使用になる前には必ずDC6100取扱説明書 95691-2791-0000をご参照下さい。本簡易取扱説明書はDC6100取扱説明書をよく理解していただいた上での要約をまとめたもので、本製品の取扱を詳細に記していません。
- ・本製品の各入力ユニットは、右から順に自動的に装着位置番号が振られます。入力ユニットの途中にblankパネル DC61-210が入っていてもチャンネルの右詰は行いません。入力設定・収録チャンネルもblankパネル数分空くことになります。
- ・本製品のユニット着脱について、実施前に必ず電源をOFFし、安全のために電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。電源通電中のユニット着脱は、本製品の故障の原因となりますので行わないで下さい。
- ・コントロールユニット DC61-101 と複数台接続を行う場合にSYNCコネクタを使用します。コントロールユニット装着の本体がマスターとなり、電源ユニット DC61-102 および DC61-104 のCASE は「0」に指定します。
- ・電源コードは3Pコンセントに接続し必ず接地されることを確認してください。止むを得ず3Pコンセントから接地できない場合は電源接続する前に、接地ネジ（本製品を接地するネジです）で必ず大地に保護接地して下さい。
- ・入力端子のドライバ締め付け力は0.5Nm~0.6Nmで締め付けてください。強く締め付けると銅線が入力端子台の内部で押し切れてしまい故障する恐れがありますので、注意してください。

本内容を無断で転載することは固くお断りしています。

【コントロールユニット DC61-101】

- ・操作パネル：
メモリ収録START/STOPスイッチ：
スイッチを一度押すとメモリ収録がSTARTしRECランプが点灯します。もう一度スイッチを押すとSTOPし収録が止まります
- TRIGスイッチ：
STARTスイッチを押したあと、TRIGスイッチを押すとマニュアルトリガが入ります。TRIGスイッチは1回目が有効で、2回目以降は押ししても無視されます。



表示	機能名	点滅	点灯	
RMT	REMOTE	通信中	緑色	
		DHCP取得エラー	赤色	
REC	RECORD	開始トリガ待ち	緑色	
		-	時刻トリガ待ち	緑色
		内部メモリ不足 1	赤色	
ALM	ALARM	バランスオーバー	赤色	
FAIL	FAIL	-	システムエラー	赤色
CF	CF ACCESS	CFカード書込中 3	オレンジ	
		CFカード容量不足 5	赤色	
			CFカード一杯 6	赤色

・設定スイッチSW1~SW4：全てOFF

【電源ユニット DC61-102】

- ・電源スイッチ「POWER」を上(1)へ倒すと電源を通電し、下(0)へ倒すと電源が切れます。
- ・スタンバイランプ「STANBY」は本製品へ通電中に省電力モードへ移行したとき、赤色のランプが点灯します。
- ・電源コネクタ「90-264V AC~」は電圧AC90V~264Vの範囲にあることを確認して、付属の電源コードで接続します。
90V~132Vの電圧ではAC100用電源コードを使用しそれ以上の電圧に有る場合にはAC200V用をコードを使用してください。
- ・本製品を単体で使用する場合は「CASE」を「0」に設定します。
2台以上の複数台接続する場合は、2台目以降順に「1」「2」と5ケース最大300チャンネルまで増設することが出来ます。



- 内部メモリ不足：内部メモリ残容量なしのため、ファイルをクローズし赤色点灯。
- アラーム検出時：アラーム用件不成立時、消灯。
- CFカード書込中：CFカードアクセス中点滅。
- 書込先表示：データ収録先にCFカード指定。
- CFカード容量不足：全容量の95%。(CFカード容量512MB以上)
- CFカード一杯：CFカード残容量なしのため、ファイルをクローズし赤色点灯。

・下記の表が本製品で測定・出力できるものです。

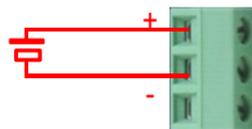
	10ch温度電圧	ユニバーサル	ひずみ	DI/ALM	30ch温度電圧
	ユニット	ユニット	ユニット	ユニット	ユニット
直流電圧 / 電流	DC61-201	DC61-202	DC61-203	DC61-204	DC61-205
熱電対					
测温抵抗体					
ひずみ					
接点					
パルス列					
アラーム出力					

【温度電圧ユニット DC61-201, DC61-205】

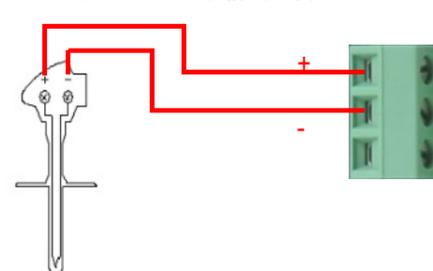
・直流電圧・電流の計測、熱電対や测温抵抗体による温度計測、無電圧接点の状態を計測できます。

「直流電圧の計測の例」

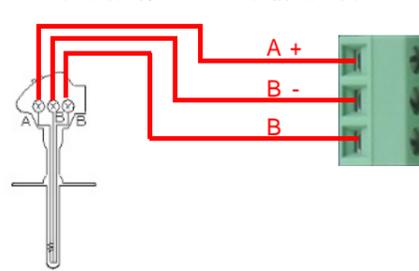
最大入力電圧
 100Vレンジ：120Vピーク
 20Vレンジ：120Vピーク
 2Vレンジ：10Vピーク
 20mV, 200mV：10Vピーク



「熱電対による温度計測の例」



「测温抵抗体による温度計測の例」



DC6100 30chモデル(キャリングキット実装)例



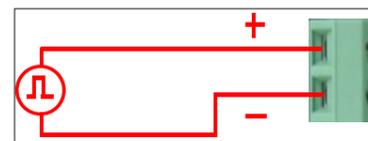
CFカード着脱はパネル表示の「CF」アクセスランプ消灯時に実施してください。

【DI/ALMユニット DC61-204】

・パルス列カウントとアラームの2種類の機能があります。パルス列入力端子は上から+, -の順になります。アラームのピン配列は上からa接点(N.O), COM, b接点(N.C)の順です。

「パルス列のカウント計測例」

5V~30V
 (入力電圧が約5.2Vを越えると入力抵抗は33kへ下がります)



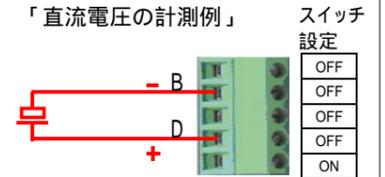
「アラーム接点の接続例」

最大開閉電圧：DC220V
 最大開閉電流：1A
 最大開閉容量：62.5VA



【ユニバーサルユニット DC61-202】

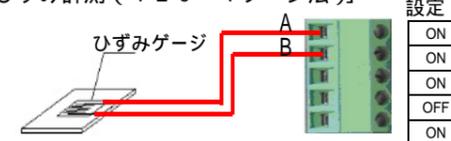
・直流電圧・電流の計測、熱電対による温度計測、無電圧接点の状態とひずみを計測できます。各チャンネルの入力端子は上からA(+BV), B(-IN), C(-BV), D(+IN), E(COM)の順です。
 【4ゲージ法設定時】



スイッチ設定
OFF
OFF
OFF
OFF
ON

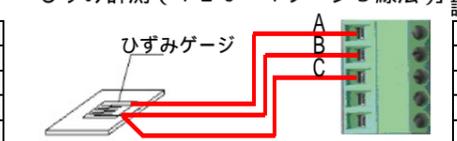
・ひずみの測定を行う場合に1ゲージ法はA, Bに接続、1ゲージ法3線はA, B, Cに接続します。隣辺2ゲージ法はA, Cに各ゲージ片線をもう片線をBにそれぞれ2本を接続します。対辺2ゲージ法はA, Bで1ゲージ、C, Dでもう片方のゲージを接続します。4ゲージ法では各辺にA, B, C, Dを接続します。

「ひずみ計測(120 1ゲージ法)」



スイッチ設定
ON
ON
ON
OFF
ON

「ひずみ計測(120 1ゲージ3線法)」



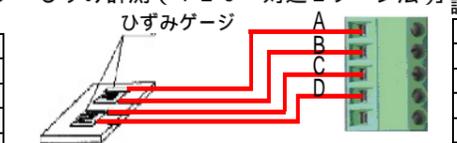
スイッチ設定
ON
ON
OFF
ON
OFF

「ひずみ計測(120 隣辺2ゲージ法)」



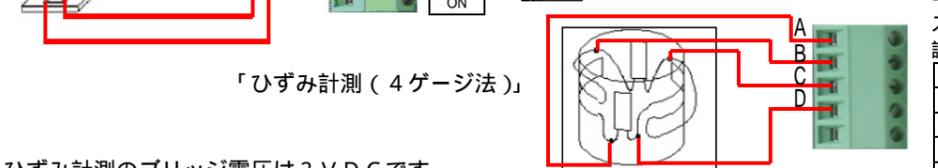
スイッチ設定
ON
ON
OFF
OFF
ON

「ひずみ計測(120 対辺2ゲージ法)」



スイッチ設定
ON
OFF
ON
OFF
ON

「ひずみ計測(4ゲージ法)」



スイッチ設定
OFF
OFF
OFF
ON

ひずみ計測のブリッジ電圧は2VDCです。

DC6100 簡易取扱説明書 [PC 設定編]

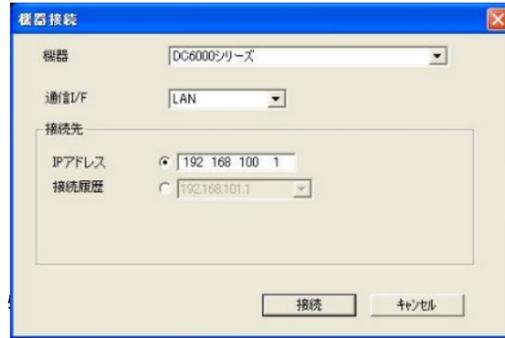
NEC Avio 赤外線テクノロジー株式会社

内容を無断で転載することは固くお断りしています。

【Ethernet 接続1】PCと1対1で接続

EthernetでPCと1対1(ポイントツーポイント)接続で使用するケーブルは「クロスLANケーブル」です。この場合、本製品DC6100のIPアドレスは一般的には変更する必要が無いため初期値「192.168.100.1」のまま使用します。

- 手順 クロスLANケーブル(市販品のクロスケーブル カテゴリ5, 6, 7を使用可)を準備
- 手順 DC6100の電源をONしてPCとクロスLANケーブルで接続(DC6100のLANコネクタのLED緑と橙が点灯)
- 手順 PCのネットワーク接続設定 詳細は下の【ネットワーク設定】を参照。PC側のIPアドレスを例えば「192.168.100.10」にします。
- 手順 IPアドレスを「192.168.100.1」に設定して「接続」ボタンを押すとDC6100と接続されます。正常にDC6100と接続されると、自動で『アンブ』が表示されます。操作説明はUnifizer LE for Scannerの取扱説明書を参照してください。接続に失敗した場合は以下の項目をもう一度点検し直してから手順からやり直します。クロスLANケーブルが点検してください。ストレートケーブルであった場合、手順の確認でLEDが点灯しません。PCのネットワーク接続が変更されているかプロパティで確認します。か点検してください。

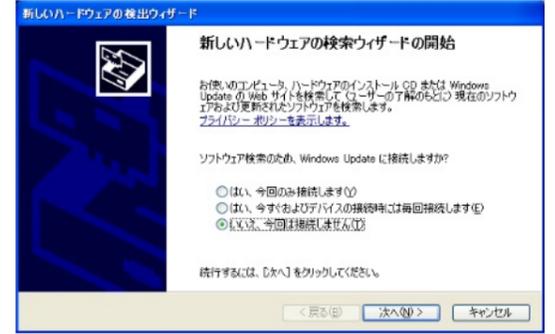


【USB 接続】

本製品DC6100のUSB(2.0)はハードウェア上の接続はUSBですが、PC内部での扱いは、特殊なドライバ(Ethernetクラス)を経由することでEthernetとして扱われます。従ってUSB接続するには以降の2つの操作が必要です。

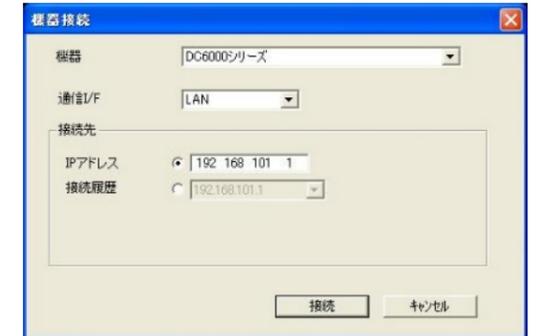
1) USBドライバのインストール

- 手順 DC6100用のUSBドライバのインストールはDC6100を電源ONして、インストールするPCとUSBケーブルで接続します。するとWindowsのウィザードが働き出します。専用のドライバを指定フォルダよりインストールするため「いいえ、今回は接続しません」を選び「次へ」を押します。
- 手順 専用ドライバのある場所を指定するため「一覧または特定の場所からインストールする」を選び「次へ」へ進みます。
- 手順 「次の場所で最適なドライバを検索する」を選び、「リムーバブルメディア」フロッピー、CD-ROMなどを検索」を選び、「次へ」を進みます。予めUnifizer LE for Scannerなど添付CD-ROMの内容を指定フォルダへコピーしてある場合は、そのフォルダを指定。
- 手順 ドライバをインストールし始めると警告表示されますが、「続行」を押して進みます。
- 手順 インストールが継続されます。「完了」が表示されたらボタンを押してインストールが完了します。



2) ネットワーク設定

- 手順 PCのネットワーク接続設定 詳細は左下の【ネットワーク設定】を参照。PC側のIPアドレスを例えば「192.168.101.10」にします。
- 手順 IPアドレスを「192.168.101.1」に設定して「接続」ボタンを押すとDC6100と接続されます。正常にDC6100と接続されると、自動で『アンブ』が表示されます。操作はUnifizer LE for Scannerの取扱説明書を参照してください。接続に失敗した場合は以下の項目をもう一度点検し直してから手順からやり直します。



【ネットワーク設定】共通のWindowsネットワーク接続の方法

- 手順 PCの「スタート」-「設定」-「ネットワーク接続」。「ローカルエリアネットワーク接続」を選びます。右図では「ローカルエリア設定」がEthernetで接続、「ローカルエリア設定 2」がUSBで接続の例です。USBで接続した場合「Acme USB Remote NDIS Network Device」と表示されます。
- 手順 マウスの右クリックで「ネットワーク接続のプロパティ」を開きます。
- 手順 プロパティ画面の全般から「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選び「プロパティ」ボタンを押します。
- 手順 「次のIPアドレスを使う」を選びIPアドレスをDC6100と通信できるアドレスに合わせます。PCと1対1で接続する場合は
IPアドレス : 192.168.100.10
サブネットマスク : 255.255.255.0
USBで接続する場合は
IPアドレス : 192.168.101.10
サブネットマスク : 255.255.255.0



【Ethernet 接続2】ネットワークに接続

DC6100のIPアドレスをネットワーク管理者より振当てられたアドレスへ変更します。DC6100のIPアドレスを変更するには、一旦PCと1対1で接続して「USER.PRM」パラメータファイルの内容を書換えて再登録することになります。

1) PCと1対1接続をします。詳細は、左上【Ethernet 接続1】を参照して下さい。

2) USER.PRMファイルの書換え

- 手順 付属CDの「DC6100」フォルダ内にある「USER.PRM」をご使用PCの適当なフォルダへコピーして、Windowsのメモ帳などテキストエディタで「ETH_IP」「SUBNET」「GATEWAY」の各アドレスをネットワーク管理者が指定されたIPアドレスに書換え、上書き保存します。
- 手順 IPアドレスを書換えたUSER.PRMファイルをDC6100へ送ります。DC6100へUSER.PRMファイルを送るには、FTP()にてファイルを転送(上書き)します。デフォルト設定ではFTP通信ソフトにて、接続先を「ftp://192.168.100.1」(DC6100のIPアドレスが192.168.100.1の場合)、ユーザ名「admin」、パスワード「admin01」を指定するとFTP接続できます。

3) IPアドレスの登録

- 手順 Windowsのプログラム - アクセサリ - 通信 - ハイパーターミナルを実行します。接続の設定ウィンドで「名前」の項目を例えば「DC6100設定」など適当な名前を設定します。右図の接続の設定ウィンドで「接続方法」をCOMポートから「TCP/IP」へ選択し直します。ホストアドレスにDC6100のデフォルトアドレス「192.168.100.1」を設定、ポート番号を「6100」に設定して「OK」を押します。
- 手順 ハイパーターミナルが起動したら「Enter」キーを一度押し、「e2」アンサーが戻れば正常にDC6100と接続されています。ここでUSER.PRMファイル内容を有効にするため「UWD」と大文字でキー入力し「Enter」キーを押します。USER.PRMが有効になると「00」とアンサーが表示されます。「e2」などのエラーが返る場合は、キー入力をもう一度確かめてキー入力します。アンサーが「00」と返れば、IPアドレスの書換え完了です。一度電源スイッチをOFFし再度ONすると、以降は書換えたIPアドレスが有効になります。なお、電源をOFFするまではこれまで接続したIPアドレスのままとなります。
- 手順 DC6100との接続ケーブルをこれまでのクロスLANケーブルから、ストレートLANケーブルに交換してネットワークと接続します。

